

コミュニティ・スクールは、一人一人の子どもが幸せな人生を歩んでいけるよう社会総がかりで子どもを育む取り組みです。



# 東桂CS通信



令和7年11月吉日

東桂小校長 清水 浩喜  
東桂中校長 三枝 幸一

～東桂小中学校コミュニティ・スクール(CS)、活動報告～

## 10/2(木) 令和7年度第2回学校運営協議会(小中合同)

令和7年10月2日18:00より、東桂地域コミュニティセンターにて、小中合同の第2回学校運営協議会を開催し、委員20名、児童生徒6名、教職員21名が集まりました。小中それぞれこれまでに取り組んできた「かたち」を発表し合い、みんなで成果と課題を明らかにし、今後の取り組みにつなげていこうという内容で、盛んに情報と意見交換がなされた素晴らしい熟議になりました！

**熟議：「かたち」にみんなの声を届けよう！We love 東桂！！**

### ①今年度の活動の中間発表

小

チーム「サザン」：プール清掃を地域・保護者・先生・児童で実現！今後他にもお手伝いことはあるかな。  
チーム「ローカルカルチャー」：お神楽の授業。今後も地域コミュニティ・伝統文化の伝承に寄与したい。  
チーム「PCT」：PTAは数年かけて体制の改善を。冬休み、コミセンで子どもたちの学びの場を作る予定。  
チーム「東桂文化祭」：文化祭にて、東桂学習の成果発表等を予定。

中

東桂学習とキャリア教育。1年生自然体験、2年生社会体験（戸塚醸造酢）、保護者地域とともに進める教育活動（富士学苑ジャズバンド招待演奏会運営、プール清掃、美化作業）、白須慶子さんから学ぶ演劇



チーム「サザン」  
田口会長(東桂小)



チーム「ローカル  
カルチャー」  
金子さん



チーム「PCT」  
亀田PTA会長



チーム「東桂文化祭」  
児童会執行部



東桂中 三枝校長

### ②よいところ、改善点(更なるアイデア)



コーディネーター  
佐藤副会長  
(東桂小)

大人は、「子どもたちのために、まずは大人が進んで動こう！」という熱を帯び、小中学生はそんな大人の姿から学び、真剣に受け答えをし、自分なりの意見を述べます。「地域ともっとつながりたい、そのために私たちはこうありたい」という主張には、大人がはっとさせられるようでした。「みんな」、それぞれが自分ごとになって、協働する東桂CSへ向けて、さらに大きな影響を与える議論になりました！

### 熟議で出た意見

成果

- ・教員の負担減・CSが前進している実感！・学校だけでやるよりも「本物」に触れて学びが広がった
- ・子どもたちが地域でやりたいことが実現している、伝統文化を知り興味関心を広げている、地域への愛着が醸成されつつある、大人の姿から学んでいる、地域に支えられている実感と感謝・一体感！
- ・多くの地域の方々が学校行事に来てくださる・顔が見える関係へ・学校のニーズや実態に合っている・

課題

- ・CSのより広い周知と人材発掘・子どもたちの声をもとにした協働を増やしていく・地域と子どもがつながる準備時間の確保・子育て世代の参画・いかにあるものを生かし無理をつくらないか・持続性の担保・子どもたちの学びの最大化、活用・もっと交流し触れ合う・子どもたちの何を育むのかという目的意識の再認識・(CSにおける)PTAのあり方とは・小中の関わり増・

裏面につづく！

教員

- ・小中学生がしっかりと意見を持ち、大人たちへ向けて発言する姿を見て頼もしく思いました。
- ・子ども、教員、地域の方々が直接お話ができる機会はとても貴重だと感じました。地域の良さや、関わる上での課題も見えてきたように思います。

地域

- ・回を重ねるたびに、会全体のベクトルが右肩上がりに高まっていくのを感じます。児童会、生徒会代表の皆さんが、地域の皆さんとつながる大切さ、自分なりの思いや言葉で述べてくれたことが印象深かったです。こんなにも純粋に感じてくれている思春期の子供たちに、私たち大人がそれぞれの立場からどんな背中を見せられるかが子どもたちから問われていると感じました。私たち大人がどう成長するかが大事なんだなあ、子どもたちから憧れられる大人でありたいなあ、久しぶりに爽やかな気持ちになりました。
- ・みなさんの東桂愛を感じています。世代を超えた人と人とのつながりを持てたことが私自身にとっても有益です。東桂まちづくり文化祭が、出演者のための機会と感じていた中で、小中学生の関わりによって、地域みんなでつくる企画に変わりつつあることが非常にうれしく、また発展したと感じました。この文化祭が、東桂に住むみんながつながり、コミュニティが活性化される一つの契機になることを本当に期待したいです。

児童生徒

- ・地域の方々と児童生徒、先生、保護者でつながっていくということが、これまでになかった新しい試みで面白いです。小中学生同士での話し合いや広報活動について、考えていきたいです。
- ・子どもの数の減少により、運動会や神楽が昔より盛り上がり方が変わっていると知りました。中学校でも、盛り上げるためにいろいろ考えていき、土台づくりをしていきたいと考えました。
- ・これからどういうことをしていったらいいのか話し合い、生徒会から児童会へ提案したことを通して、「関わりを深めよう」という気持ちが高まりました。今回は話し合いで案出ししかなかったけれど、計画するときにもぜひ呼んでほしいと思いました。

## 9/9 白須慶子さんから学ぶ「演じる」こと

東桂中

本校の卒業生でCS委員でもある白須慶子さんから、演技の技術や魅せ方、工夫等の教えを受け、生徒からは「おー！すごい！」「恥ずかしがらずやろう！」「といった声が挙がりました。白須さんからは、「みんなで協力し作り上げること」「人の目線に立つこと」「皆さん自身がこの舞台を楽しめるように」といったメッセージが贈られました。終了後には、「一つ一つの技術に驚いた。」「去年よりも表現力が成長していると実感した。」「自信がなかったけど、迷いがなくなった。」「自分たちのメッセージをしっかりと伝えられるように頑張りたいと思った。」「先輩である白須さんに教えてもらえて恵まれている。うれしい。」といった感想が挙がりました。

地域との接点の中で、キャリア教育を進め、表現力や人間関係力等の向上を図り、また、多様な大人の人物や生き方を通し、生徒自身が生き方や人生について考えるきっかけとなってほしいと思います。



コミュニティ・スクール(CS)とは、学校・保護者・地域住民で構成する「学校運営協議会」を設置した学校のことで、「地域とともにある学校づくり」の実現に向け、学校目標やそれぞれの課題、地域資源等を共有し合い、学校・地域が一体となって、特色ある学校づくりや子供の学びや成長を支えていく仕組みです。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(第47条の5)が平成16年の改正によって制度化され、令和6年5月時点で全国の小・中・義務教育学校の65.3%が導入に至っています。

### 第3回学校運営協議会、開催（予定）

日時：令和8年2月26日（木）18:00～19:30 場所：東桂地域コミュニティセンター

問合先●都留市立東桂小学校0554-43-2466校長清水●都留市立東桂中学校0554-43-2421校長三枝